

編集後記

コロナ禍がなかなか収まらない中、今年度もリモート開催となりましたが、多数の参加者に接続いただき大盛況の中終えることが出来ました。参加者の皆様のご協力に心より御礼申し上げます。

今年度の新しい試みとして、各セッションの後質問時間を設ける代わりに、時間の区切りごとに個別に部屋を用意して議論いただくという方式を取りました。今までは質問の時間が限られて十分な議論が行えなかったこともあります。今回これはうまく行ったと感じております。

しかしながら、同じ分野の発表が重なっていると、興味のある発表の質問部屋が重なってしまい、すべての質問部屋に参加できないなどの弊害もあり、今後の課題として検討する必要があります。

昨年に引き続き遠方の方もリモートで気軽に参加できる会となっているので、この形式でのシンポジウムは続けたいと思います。しかしその半面、懇親会では直接顔を合わせることがなかったのも、一部での盛り上がりで終始してしまった感があります。いずれコロナ禍が過ぎ去り、皆で顔を合わせて懇親会ができるようになることを願っております。

今後とも参加および協力のほどよろしくお願いします。

令和4年4月11日 世話人会懇親会担当 小俣孝司

第41回 天文学に関する技術シンポジウム 世話人

野辺山観測所	倉上 富夫
アルマプロジェクト	清水上 誠
先端技術センター	坂井 了
先端技術センター	清水 莉沙
先端技術センター	小俣 孝司

オブザーバー

先端技術センター	藤井 泰範
----------	-------